

暮らしのシーンに、愛される商品を。

2016年に経営統合した伊藤ハムと米久は、それぞれの創業精神である「事業を通じて社会に奉仕する」「感動を創る」のもと、お客様の期待に応え、創意工夫を凝らした高品質でおいしい商品を生み出してきました。統合により、伊藤ハム米久グループはさまざまなシナジー効果を創出しながら、これからも皆様の暮らしのシーンに、愛され続ける商品をお届けしていきます。

私たちが目指す企業像

私たちは事業を通じて、
健やかで豊かな社会の実現に貢献します

グループ
理念

フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、
従業員とともに持続的に成長する
食品リーディングカンパニー

ビジョン

- 安全安心と品質の追求による、価値ある商品とサービスの提供
- 有言実行の徹底による信頼関係の構築、強化
- 全員参加の闊達な意思疎通と相互理解による能力開発と育成
- コンプライアンスを最優先とした、公明正大で透明性のある行動
- 地球環境に配慮した事業活動の推進

行動指針

ステークホルダーの皆様へ

伊藤ハム米久グループは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールとして、このたび統合報告書2022を発行しました。本報告書を通じて、社会への価値提供と企業価値の持続的な向上を目指した当社グループの取り組みについて、ステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えしてまいります。

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
代表取締役社長
宮下 功

目次

▼ インTRODクシヨ

- 1 私たちが目指す企業像
- 2 編集方針
- 3 伊藤ハム米久グループの成長の軌跡
- 5 財務・非財務ハイライト

▼ 目指す姿と戦略

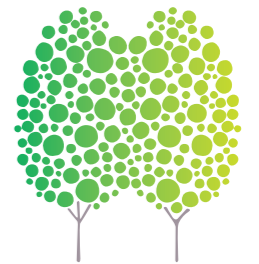
- 7 トップメッセージ
- 9 価値創造プロセス
- 11 特集1 食肉事業 本部長座談会
「持続可能な調達と安定供給の推進」に向けて
- 15 事業概況
- 19 特集2 商品開発担当者インタビュー
「妥協しない美味しさと高品質へのこだわり」の実現へ
- 22 マテリアリティへの取り組み

▼ 成長の基盤

- 25 サステナビリティの考え方
- 27 環境への取り組み
- 31 社会への取り組み
- 35 ガバナンス

▼ コーポレートデータ

- 44 財務情報
- 45 企業データ



編集方針

本報告書は、株主・投資家をはじめとする、すべてのステークホルダーの皆様へ、伊藤ハム・米久両社のこれまでの歩みや、伊藤ハム米久グループの中長期的な価値創造プロセスについて、よりいっそうの理解を深めていただくことを目的に作成しています。

対象範囲

報告対象期間
2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）の取り組みを報告していますが、一部では上記期間以外の取り組みについても報告しています。

報告対象組織

伊藤ハム米久グループ
※対象範囲が異なる場合は、個別に記載しています。

参考にしたガイドライン

IIRC「国際統合報告フレームワーク」
環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」

見通しに関する注意事項

本報告書に記載した将来についての戦略、業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績などは、さまざまな要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。